

## 意見聴取会の関係例規

○枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会設置要綱（P1～2）

○枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程（P3～8）

○枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会の傍聴に関する  
取り扱い要領（P9）

枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会設置要綱

制定 平成 27 年 6 月 19 日枚方市要綱第 44 号  
最終改正 令和 元年 9 月 24 日枚方市要綱第 16 号

(設置)

第 1 条 まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条第 1 項に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定に向けて、同条第 2 項各号に掲げる事項について学識経験を有する者等の意見を聴取するため、枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会（以下「聴取会」という。）を置く。

(聴取会の構成)

第 2 条 聴取会は、聴取会委員11人以内で構成する。

2 聴取会委員は、次に掲げる者のうちから、市長が依頼する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 産業団体を代表する者
- (3) 労働団体を代表する者
- (4) 金融機関を代表する者
- (5) 放送、出版、インターネット等により地域の情報を発信する団体を代表する者
- (6) 市民団体を代表する者
- (7) 関係行政機関の職員
- (8) 前各号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(聴取会委員の依頼)

第 3 条 聴取会委員の依頼期間は、総合戦略の策定に関して必要な意見聴取の終了時までとする。

(聴取会委員の身分)

第 4 条 聴取会委員は、地方公務員としての身分を有しないものとする。

(進行方法)

第 5 条 聴取会は、市長が招集し、聴取会委員の意見を聴取する。

2 聴取会の円滑な進行を図るため、聴取会に、座長を置くものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

3 聴取会は、その進行方法に関する事項を除き、取決めを行わないものとする。

(秘密の保持)

第 6 条 聴取会委員は、聴取会を通じて知り得た秘密を他に漏らしてはならない。聴取会委員でなくなったときも、また、同様とする。

(報償金の支給)

第 7 条 聴取会委員には、聴取会への出席 1 回（1 日に同一の聴取会が複数回開催された場合にあつては、1 日）につき、報償金として、9,500円を支給するものとする。

(庶務)

第8条 聴取会の庶務は、総合政策部企画課が担当する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、制定の日から施行する。

附 則 [令和元年枚方市要綱第16号]

この要綱は、制定の日から施行する。

○枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程

平成20年11月20日

訓令第22号

改正 平成29年9月13日訓令第12号

平成30年3月30日訓令第5号

(目的)

第1条 この訓令は、枚方市情報公開条例(平成29年枚方市条例第40号)の趣旨にのっとり、本市における会議の公開及び会議録の作成等に関し必要な事項を定めることにより、審議会、意見聴取会及び庁内委員会の会議等における過程及び内容を明らかにするとともに、その公正な運営を確保し、もって本市における公正な行政運営の推進に資することを目的とする。

(平30訓令5・一部改正)

(定義)

第2条 この訓令において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 審議会 次に掲げるものをいう。

イ 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項に規定する附属機関

ロ 枚方市専門委員設置規則(昭和58年枚方市規則第65号)第4条に規定する専門委員による協議会

(2) 意見聴取会 行政執行に係る判断、結論等を導くために行う学識経験者、市民、関係団体等への意見聴取のための会合

(3) 庁内委員会 次に掲げるものをいう。

イ 枚方市庁内委員会規程(平成20年枚方市訓令第10号)に規定する庁内委員会

ロ 枚方市都市経営会議規程(平成20年枚方市訓令第9号)第1条に規定する枚方市都市経営会議

ハ 枚方市障害者雇用推進本部設置規程(昭和59年枚方市訓令第22号)第1条に規定する枚方市障害者雇用推進本部、枚方市人権擁護推進本部設置規程(昭和59年枚方市訓令第26号)第1条に規定する枚方市人権擁護推進本部、枚方市男女共同参画推進本部設置規程(平成元年枚方市訓令第20号)第1条に規定する枚方市男女共同参画推進本部、枚方市環境行政推進本部設置規程(平成8年枚方市訓令第21号)第1条に規定する枚方市環境行政推進本部、枚方市情報化推進本部設置規程(平成12年枚方市訓令第

24号)第1条に規定する枚方市情報化推進本部、枚方市行政改革実施本部設置規程(平成13年枚方市訓令第21号)第1条に規定する枚方市行政改革実施本部、枚方市戸籍謄本等不正入手対策本部設置規程(平成18年枚方市訓令第24号)第1条に規定する枚方市戸籍謄本等不正入手対策本部、枚方市健康推進本部設置規程(平成18年枚方市訓令第33号)第1条に規定する枚方市健康推進本部及び東日本大震災枚方市支援実施本部設置規程(平成23年枚方市訓令第2号)第1条に規定する東日本大震災枚方市支援実施本部

ニ イからハマまでに掲げるもののほか、法令等(法令、条例又は規則をいう。以下同じ。)又は訓令その他決裁等の内部手続に基づき、本市の意思決定を行うに当たり設置される本市職員で構成する会議体

(平30訓令5・一部改正)

(会議の公開の決定等)

第3条 審議会の会議は、公開とする。ただし、次に掲げる会議は、非公開とすることができる。

(1) 法令等の規定により非公開とされる会議

(2) 枚方市情報公開条例第5条に規定する非公開情報(以下「非公開情報」という。)が含まれる事項に関する審査等を行う会議

(3) 公開することにより、公正かつ円滑な審査等が著しく阻害され、その目的を達成することができない会議

2 審議会の会議が前項に掲げる会議に該当する場合において、これを非公開とするときは、審議会がその決定をするものとする。

3 前項の決定は、審議会の会長その他の当該審議会を代表する者を定める会議又は同項の決定を行う必要があると認められる会議において行うものとする。

4 第2項の決定を行う会議は、当該決定が行われるまで公開としなければならない。ただし、第8条第2項の規定により委員の氏名が非公表とされた審議会の会議は、この限りでない。

5 審議会は、第2項の決定を行ったときは、当該決定に係る会議が第1項各号に掲げる会議に該当する理由を明らかにしなければならない。

6 庁内委員会の会議は、非公開とする。

(平29訓令12・平30訓令5・一部改正)

(会議の公開の方法等)

第4条 審議会の会議の公開は、当該会議の傍聴を希望する者に当該会議の傍聴を認めることにより行うものとする。

2 前項の場合において、審議会は、傍聴を認める者（以下「傍聴者」という。）の定員を定めることができる。

3 審議会は、その会議の公開に当たっては、当該会議が公正かつ円滑に行われるよう、傍聴に係る手続その他必要な事項を決定するとともに、当該会議の開催中における会場の秩序の維持に努めなければならない。

4 審議会は、前項の規定による決定に際し、当該会議の次第、提出資料等（以下「会議資料」という。）を傍聴者の閲覧に供し、又は傍聴者に配布することを定めるものとするよう努めなければならない。ただし、会議資料に非公開情報が含まれる場合は、この限りでない。

5 第3項の規定による決定については、前条第3項の規定を準用する。

（平30訓令5・旧第5条繰上・一部改正）

（会議開催の周知）

第5条 審議会の所管部署（当該審議会の庶務を担当する部署をいう。以下同じ。）は、その会議の開催に当たっては、当該会議の公開又は非公開にかかわらず、次に掲げる事項を記載した書面（電磁的記録（枚方市情報公開条例第2条第2項に規定する電磁的記録をいう。以下同じ。）を含む。）を所定の掲示板及び市ホームページに掲載し、並びに行政資料コーナーに配架する方法により、事前に市民に周知しなければならない。

（1） 会議の名称

（2） 開催日時

（3） 開催場所

（4） 案件名

（5） 会議の公開、非公開の別

（6） 会議が非公開の場合にあつては、その理由

（7） 会議が公開の場合にあつては、傍聴者の定員及び傍聴の手続

（8） 所管部署の名称

2 審議会の所管部署は、公開の審議会の会議にあつては、前項に規定する方法に加え、当該会議の開催について、市広報紙への掲載等により事前の周知に努めるものとする。

（平30訓令5・旧第6条繰上・一部改正）

（会議録の作成）

第6条 審議会は、その会議の公開又は非公開にかかわらず、当該会議の終了後概ね2月以内に、その会議録を作成しなければならない。

2 前項の会議録を作成する方法は、審議会が決定する。この場合においては、第3条第3項の規定を準用する。

3 第1項の会議録には、次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 会議の名称
- (2) 開催日時
- (3) 開催場所
- (4) 出席者及び欠席者の氏名
- (5) 案件名
- (6) 提出された資料の名称
- (7) 審議内容
- (8) 決定事項
- (9) 会議の公開、非公開の別
- (10) 会議が非公開の場合にあつては、その理由
- (11) 会議録の公表、非公表の別
- (12) 会議録が非公表の場合にあつては、その理由
- (13) 会議が公開の場合にあつては、傍聴者の数
- (14) 所管部署の名称

4 前項第7号の会議録の審議内容は、審議の経過が分かるように、発言者及び発言内容を明確にして記載しなければならない。

5 会議録を作成するために作成した電磁的記録(音声をその内容とするものに限る。)は、当該会議録を作成した日の属する年度の翌年度の末日までの間保存しなければならない。

(平30訓令5・旧第7条繰上・一部改正)

(会議録の公表)

第7条 前条第1項の会議録は、公表とする。ただし、第3条第1項各号のいずれかに該当した会議の会議録は、非公表とすることができる。

2 第3条第2項、第3項及び第5項の規定は、会議録の非公表について準用する。

3 審議会の所管部署は、会議録の確定後速やかに、原則として次に掲げる方法により、審議会の会議に係る会議録(公表とされたものに限る。)を一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 所管部署での閲覧

(2) 行政資料コーナーへの配架

(3) 市ホームページへの掲載

4 前項第1号及び第3号の規定により閲覧に供する会議録については、当該会議の会議資料を添付しなければならない。

5 第3項第2号及び第3号の規定による閲覧は、当該会議を開催した日の属する年度の翌年度の末日まで行うものとする。

(平30訓令5・旧第8条繰上・一部改正)

(審議会の担当事務及び委員氏名の公表)

第8条 審議会の所管部署は、当該審議会が設置されたときはその担当事務を、委員が委嘱されたときはその氏名を、公表しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、審議会の所管部署は、委員の氏名を公表することにより、当該審議会の会議の公正かつ円滑な審査等が著しく阻害され、その目的を達成することができないと認めるときは、当該委員の氏名を非公表とすることができる。この場合においては、その理由を明らかにしなければならない。

(平30訓令5・追加)

(意見聴取会及び庁内委員会)

第9条 第3条(第6項を除く。)から前条までの規定は、意見聴取会について準用する。

2 第6条(第3項第9号から第13号までを除く。)及び第7条の規定は、庁内委員会について準用する。この場合において、第6条第4項中「経過が分かるように、発言者及び発言内容」とあるのは、「概要をまとめ、決定に至る審議の過程」とする。

(平30訓令5・追加)

(運用状況の公表)

第10条 市長は、毎年度、その前年度における審議会の会議の公開及び会議録の公表の状況をとりまとめ、これを公表するものとする。

(平30訓令5・追加)

(補則)

第11条 この訓令に定めるもののほか、審議会の会議の公開並びに審議会等の会議録の作成及び公表に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(平30訓令5・旧第10条繰下)

附 則

(施行期日)



1 この訓令は、公布の日から施行する。

(枚方市庁内委員会規程の一部改正)

2 枚方市庁内委員会規程（平成20年枚方市訓令第10号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則〔平成29年9月13日訓令第12号〕

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則〔平成30年3月30日訓令第5号〕

この訓令は、平成30年4月1日から施行する。

## 枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会の 傍聴に関する取り扱い要領

- 1 趣旨  
枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会（以下「意見聴取会」という。）の傍聴に関して、必要な事項を定めるものとする。
- 2 意見聴取会の公開  
意見聴取会は、原則として公開により行うものとする。なお、意見聴取会の座長（以下「座長」という。）は、特に必要と認めるときは、傍聴を制限することができる。
- 3 傍聴の手続き
  - (1) 審議を傍聴する者（以下「傍聴人」という。）は、事前に自己の住所及び氏名等を記載した「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会傍聴人受付簿」を提出するものとする。
  - (2) 傍聴の定員は、会場の都合により、座長が、その定員の数を決定する。
  - (3) 傍聴の受付は、意見聴取会の開催時刻までに行うものとする。なお、傍聴を希望する者が定員を上回った場合は、抽選によるものとする。
- 4 傍聴の区分  
座長は、傍聴席を、必要に応じて一般席及び報道機関席に分けることができる。
- 5 傍聴席に入ることができない者
  - (1) 意見聴取会の進行を妨害し、又は他者に迷惑を及ぼすと認められる者は、傍聴席に入ることとはできない。
  - (2) 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、保護者又は監督者が付き添う場合は、この限りではない。
- 6 傍聴人の遵守事項  
傍聴人は、次の事項を遵守しなければならない。
  - (1) 静粛に傍聴し、みだりに傍聴席を離れないこと。
  - (2) 発言を求めたり、委員の発言に対して、拍手その他の方法により賛否を表明しないこと。
  - (3) 張り紙、ゼッケン、たすき、旗等を使用した示威的行動をしないこと。
  - (4) 座長の許可なく、録音、撮影等をしないこと。
  - (5) その他意見聴取会の進行を妨げるような行為をしないこと。
- 7 座長の指示の遵守  
傍聴人は、すべて座長の指示に従わなければならない。
- 8 違反に対する措置  
座長は、傍聴人がこの要領に違反したと認めるときは、当該違反行為を止めるよう命じ、又は傍聴人に退場を命じることができる。
- 9 資料の取り扱い  
意見聴取会で委員に配付する資料は、原則として、傍聴人にも配付する。ただし、有料図書及び部数に限りのある冊子、並びに枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する情報に該当すると認められる資料については、この限りではない。
- 10 補則  
この要領に定めるもののほか、傍聴に関し必要な事項は、座長が別に定める。

.....<き り と り>.....

### 枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会傍聴人受付簿

枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会を傍聴します。なお、傍聴にあたっては、「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見聴取会の傍聴に関する取り扱い要領」に従い傍聴します。

住 所	
氏 名	
傍聴日	令和      年      月      日 (      )